

第175回

カケスさんの自然散歩

by 中原「カケス」直彦(しこつ湖自然体験クラブ*トゥレップ 理事)

ナナカマドにヤドリギ(宿り木)

1月は「トウエタンネ チュブ = 日が長くなる月」と田村すず子さんが沙流地方のアイヌ語として語っています。冬至を過ぎて毎日ほんの少ずつ日が長くなります。早朝の自然散歩をなさる方が一番実感しておられることでしょう。

車で走っていて見つけたので散歩中の話ではないのですが、新年らしい縁起の良いものを見つけました。ご覧のような真っ赤な実と黄色い実が、同じ樹に着いています。

赤い実はナナカマド。昨年の夏は暑かったせいか今シーズンの実はどこも見事です。私の生家に近い苫小牧市明野のバイパスを走っていた時のこと、街路樹はナナカマドで、どの樹にも真っ赤な実が鈴なり。色彩が少ない冬の道に



素晴らしい色どりを添えています。

ナナカマドは「七竈(かまど)」。7回かまどにくべても燃え残るほど燃えにくい木というのが名称の由来ですが、幸運の七です、ラッキー7ですね。

その中の1本のナナカマドの枝に、くすんだ緑色のこんもりした丸い塊が一つ、くっ着いています。直径は数十cmほど。みなさんも、一見すると「あれ?カラスの巣かな?」なんて見つけることがあるのではないのでしょうか。それがヤドリギ。他の樹に寄生する植物なので、「宿り木」というわけです。

近くに駐車して近づいてみると、ヤドリギには黄

色い実がびっしりとありました。ナナカマドの赤に囲まれて、その対比の綺麗なこと。うれしくなりました。



ヤドリギは光合成をして成長するれっきとした常緑の樹木です。宿主である木の枝に根を喰い込ませて、その導管から水分や無機塩類など養分の一部を得ています。このような生態を「半寄生」と言います。

この厳寒期にも緑色で生き活きとしている事から、古くから人々はヤドリギに不思議な生命力を感じてきたようです。それは「縁起の良い物」として各地に伝えられています。お正月の飾りにする地方もあり、万葉集などにも登場します。西洋ではケルト神話・北欧神話から幸福・繁栄をもたらす「聖なる木」とされ、特にクリスマスに飾られます。ヤドリギの飾りの下でキスをすると特に縁起が良いのだそうです。

高い樹の枝に根を下ろすには、野鳥の力が必要です。これからの季節に大陸からやって来る美しい野鳥、キレンジャクやヒレンジャクをはじめ、おなじみのヒヨドリもヤドリギの実を食べます。果肉の中の種のまわりには粘着性をもつ部分があって、果肉以外は消化されずに体外に排泄されます。それが鳥のお尻から糸のように長く垂れ下がり、種がどこかの樹にべたりと貼りつき、そこで根を出して枝に食い込んでいくというわけです。鳥の力を借りてヤドリギは分布を広げているのです。

プロフィール カケスさん

中原直彦 (社)日本自然保護協会の自然観察指導員。市民団体「しこつ湖自然体験クラブ*トゥレップ」を2003年に設立。(財)アイヌ民族文化財団・活動アドバイザー。小学校非常勤講師。専門は環境学習。音楽活動ではブルーグラス・バンドを主宰。2009年8月より当コラムを執筆。

キューちゃんの



今日は何の日?

1月17日は「おむすびの日」

米に関する民間企業やJA等で作る「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」が2000年11月に制定し、2001年から実施。日付は公募で選ばれ、阪神淡路大震災ではボランティアの炊き出しで被災者が励まされたことから、いつまでもこの善意を忘れない為、1月17日を記念日としたんだって。



読める? 北海道の地名



ちっぽまない

知方学

せんぼうしむら (北海道釧路郡釧路町仙鳳趾村)



↑ おおよそこの辺り



うちの子がいちばん!



ソラちゃん&マメちゃん & チョコちゃん&フウちゃん & 千歳市みどり台北 サボヘアーさん



ももちゃん

千歳市富士 ほのかさん



リッケちゃん

千歳市清流 ケニーさん



マロンちゃん

千歳市日の出 ナンさん



みいちゃん

千歳市末広 みいちゃんパパさん



かぶちゃん

千歳市若草 うっきーさん



ぶりんちゃん&りぼんちゃん

恵庭市緑町 さあーちゃんさん



レオちゃん

恵庭市桜町 ウヌさん



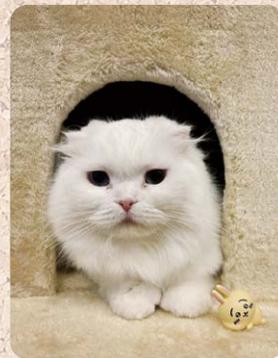
さんちゃん

千歳市富丘 うめさん



こはるちゃん

恵庭市京町 ゆきさん



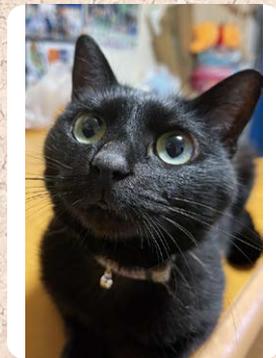
むーちゃん

千歳市幸福 くらげさん



ジェードちゃん

恵庭市黄金南 よもぎもちさん



ジジちゃん

千歳市住吉町 ゆつびいさん



ハクちゃん

恵庭市文京町 のんさん



くろみつちゃん

千歳市里美 ちとせさんさん